

Roland

24 TR / 24-bit / 96 kHz
DIGITAL STUDIO WORKSTATION

VS-2480 Version 2.0 VS-2480CD

追加された機能



この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」（取扱説明書 P.2, 3）と「使用上の注意」（取扱説明書 P.10）をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、ユーザー・ガイドと取扱説明書、および資料をよくお読みください。ユーザー・ガイドと取扱説明書、および資料は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

© 2002 ローランド

本書の一部、もしくは全部を無断で複製・転載することを禁じます。
ローランド・ホームページ <http://www.roland.co.jp/>

目次

目次	2
VGA 画面に表示される各部の名称	3
共通部	3
メニュー	3
時刻操作・トランスポート	5
つまみ	6
インプット・クリップ・インジケータ	6
ホーム (HOME) 画面	6
レベル・メーター	7
IN-OUT-FROM-TO ポイント表示	7
プレイリスト	8
ファンクション・ボタン/ステータス部	9
ミキサー (MIXER) 画面/チャンネル・ビュー	10
共通部	10
チャンネル・ビュー (インプット/トラック・ミキサー)	12
チャンネル・ビュー (エフェクト・リターン・ミキサー)	14
ミキサー (MIXER) 画面/ミキサー・ビュー	14
ミキサー・ビュー (インプット・ミキサー/マスター・ブロック)	14
ミキサー・ビュー (トラック・ミキサー/エフェクト・リターン・ミキサー)	16
ミキサー (MIXER) 画面/マルチ・チャンネル・ストリップ・ビュー	17
INPUT MIXER 1 ~ 16、INPUT MIXER 17 ~ 24 / AUX MST	17
TRACK MIXER 1 ~ 16、TRACK MIXER 17 ~ 24 / FX RTN	18
V フェーダー	20
ユーティリティ (UTILITY) 画面	21
アナライザ (ANALYZER) 画面	21
イージー・ルーティング (EZ ROUTING) 画面	22
CD-RW マスタリング (CD-RW MASTERING) 画面	24
バージョン 2.00 から追加された機能	25
外部接続の VGA ディスプレイで VS-2480 を操作する	25
操作画面を切り替えるには	25
VGA ディスプレイで操作するには	25
本体 LCD で操作するには	25
操作ディスプレイを瞬時に入れ替えるには	25
フレーズの音量を変えるには (フレーズ・パラメーター)	26
フレーズをフェード・インさせるには	26
音楽 CD から音声を取り込むには (CD キャプチャー)	28
音声の取り込みを中止する	30
音声の取り込み時間について	30
オートミックス・データを複数パターン作るには	31
オートミックス・データを呼び出すには	31
マウス操作によるフレーズのトリム・イン/トリム・アウト	32
グリッド機能の強化	32
グリッド・モードの設定	32
追加されたショートカット・ボタン	33
追加されたパラメーター	33
索引	34
MEMO	38

VGA 画面に表示される各部の名称

VS-2480 システム・バージョン 2.0 と VS-2480CD では、外部に接続した VGA モニターを使っていろいろな操作ができます。この章では、各画面に表示される操作子について説明します。

共通部



VGA で操作できる画面は他にもありますが、この説明書で解説のされていない画面については本体 LCD の操作方法と同じです。

メニュー



1. PROJECT

プロジェクト画面へ移動するためのプルダウン・メニューが表示されます。

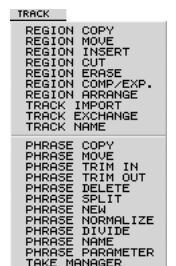
- NEW、RELOAD、NAME、PROTECT、SPLIT、EXPORT
プロジェクトに関する各種操作を行う画面に移動します。
- PROJECT LIST
カレント・ドライブに保存されているプロジェクトを一覧します。
- STORE
カレント・プロジェクトを保存します。
- SHUTDOWN/EJECT
VS-2480 の動作を終了させます。



2. TRACK

トラック・エディット画面へ移動するためのプルダウン・メニューが表示されます。

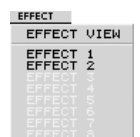
- REGION COPY、MOVE、INSERT、CUT、ERASE、COMP/EXP.、ARRANGE
リージョン・エディットの各編集画面に移動します。
- TRACK IMPORT、EXCHANGE、NAME
トラック・インポート、エクスチェンジ、ネーム画面に移動します。
- PHRASE COPY、MOVE、TRIM IN、TRIM OUT、DELETE、SPLIT、NEW、NORMALIZE、DIVIDE、NAME
フレーズ・エディットの各編集画面に移動します。
- TAKE MANAGER
テイク・マネージャー画面に移動します。



3. EFFECT

エフェクト画面へ移動するためのプルダウン・メニューが表示されます。

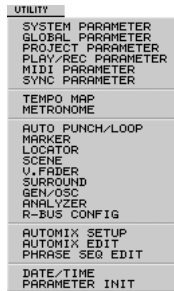
- EFFECT VIEW
現在使用中のエフェクトを一覧します。
- EFFECT 1 ~ EFFECT 8
各エフェクトのエディットを行う画面に移動します。



4. UTILITY

ユーティリティ画面へ移動するためのプルダウン・メニューが表示されます。

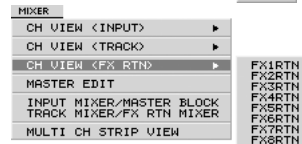
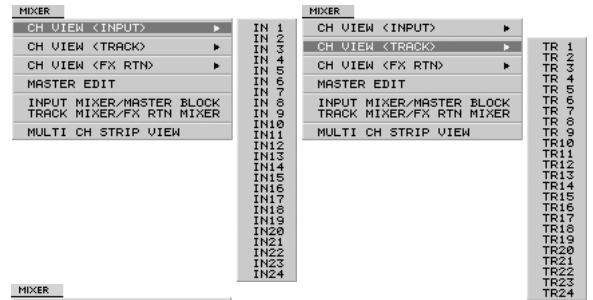
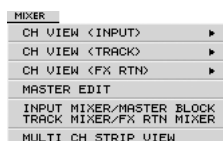
- SYSTEM、GLOBAL、PROJECT、PLAY/REC、MIDI、SYNC PARAMETER
VS-2480 の各種動作パラメーターを設定する画面に移動します。
- TEMPO MAP
テンポ・マップの設定画面に移動します。
- METRONOME
メトロノームの設定画面に移動します。
- DRUM PATTERN EDIT
リズム・パターンのエディット画面に移動します。
- AUTO PUNCH/LOOP、MARKER、LOCATOR
オート・パンチ/ループ機能、マーカー、ロケーターのそれぞれの設定画面に移動します。
- SCENE
シーンの設定画面に移動します。
- V.FADER
V フェーダー機能の設定画面に移動します。
- SURROUND
サラウンド設定画面に移動します。
- GEN/OSC、ANALYZER
ジェネレーター設定画面、アナライザー表示画面に移動します。
- R-BUS CONFIG
R-BUS 関係の設定画面に移動します。
- AUTOMIX SETUP、AUTOMIX EDIT
オートミックスの設定やエディット画面に移動します。
- PHRASE SEQ EDIT
フレーズ・シーケンス機能のエディット画面に移動します。
- DATE/TIME
日付や時刻の設定画面に移動します。
- PARAMTER INIT
パラメーター初期化の設定画面に移動します。



5. MIXER

各種ミキサー画面を切り替えるためのプルダウン・メニューが表示されます。

- CH VIEW
(INPUT、TRACK、FX RTN)
各チャンネルのビュー画面を表示します。サブ・メニューが表示されチャンネルを直接指定できます。



- MASTER EDIT
マスター・エディット画面を表示します。
- INPUT MIXER/MASTER BLOCK、TRACK MIXER/FX RTN MIXER
各チャンネルのミキサー・ビュー画面を表示します。
- MULTI CH STRIP VIEW
現在選択されているフェーダー・レイヤーのチャンネルやパスの主なパラメーターを一覧表示します。

6. EZ ROUTING

EZ ルーティング画面へ移動するためのプルダウン・メニューが表示されます。

- ROUTING VIEW
現在のルーティング表示をします。
- LOAD、SAVE
ルーティングの保存と再現をするための画面に移動します。



7. CD-RW MASTERING

CD-RW マスタリング画面へ移動するためのプルダウン・メニューが表示されます。

- MASTERING ROOM
マスタリング・ルーム画面に移動します。
- CD-R WRITE、CD PLAYER、CD CAPTURE
CD-R ライト、CD プレーヤー、CD キャプチャー機能を行う画面に移動します。
- WAV IMPORT、TRACK EXPORT、PHRASE EXPORT
.WAV 形式ファイルの読み書きを行う画面に移動します。



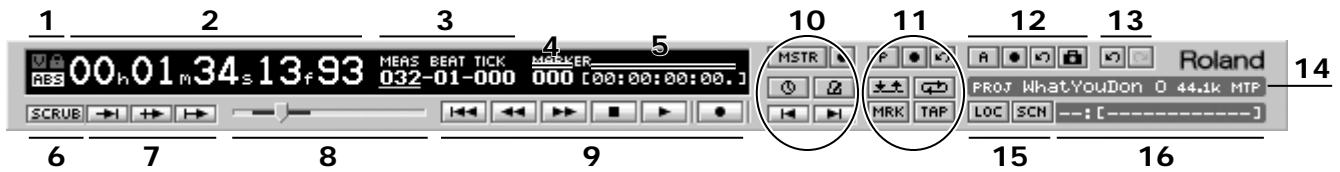
8. 時刻日付表示

現在の日付と時刻を表示します。

9. HOME

クリックするとホーム画面を表示します。

時刻操作・トランスポート



1. パリ・ピッチ・インジケータ
 プロジェクト・プロテクト・インジケータ
 ABS ABS (絶対時刻) インジケータ
2. 現在時刻 (Now Time)
3. 小節表示 (MEAS BEAT TICK)
4. マーカー番号 (MARKER)
5. マーカー・ネーム
6. SCRUB (スクラブ) スイッチ
7. プレビュー・トゥー・ボタン
 プレビュー・スルー・ボタン
 プレビュー・フロム・ボタン
8. プロジェクト・ゲージ
9. トランスポート・ボタン
 ZERO (ゼロ) ボタン
 リワインド (早戻し) ボタン
 ファースト・フォワード (早送り) ボタン
 STOP (停止) ボタン
 PLAY (再生) ボタン
 REC (録音) ボタン
10. マスタリング・ルーム・スイッチ
 マスタリング・ルーム・ステータス・ボタン
 エクスターナル・シンク・スイッチ
 メトロノーム・スイッチ
 クリックすると“METRONOME OUT”パラメーターが、“INT”-“MIDI”-“Off”と切り替わります。
 プリピアス・ボタン
 ネクスト・ボタン
11. フレーズ・シーケンス・スイッチ
 フレーズ・シーケンス・ステータス
 フレーズ・シーケンス・アンドウ/リドゥ・ボタン
 オート・パンチ・スイッチ
 ループ・スイッチ
 マーカー・ボタン
 タップ・ボタン
12. オートミックス・スイッチ
 オートミックス・ステータス
 オートミックス・アンドウ/リドゥ・ボタン
 スナップ・ショット・ボタン
13. アンドウ・ボタン
 リドゥ・ボタン
14. PROJ WhatYouDon 0 44.1k MT
 プロジェクト名、サンプリング周波数、レコーディング・モード表示
15. ロケータ・ボタン
 シーン・ボタン
 それぞれ、ロケータ画面、シーン画面を表示します。
16. 01:[Default Mix] シーン・ネーム表示

メモ

リワインド (早戻し) とファースト・フォワード (早送り) は 1 秒単位でロケートします。

10. マスタリング・ルーム・スイッチ
 マスタリング・ルーム・ステータス・ボタン
 エクスターナル・シンク・スイッチ
 メトロノーム・スイッチ
 クリックすると“METRONOME OUT”パラメーターが、“INT”-“MIDI”-“Off”と切り替わります。
 プリピアス・ボタン
 ネクスト・ボタン

つまみ



1. つまみ切り替えタブ

つまみの機能（チャンネル・パンとパラメーター・エディット）を切り替えます。本体パネル上の【PRM EDIT】ボタンと同一の機能です。



2. つまみ

チャンネル・パンまたは、パラメーターを調節するつまみです。

インプット・クリップ・インジケーター

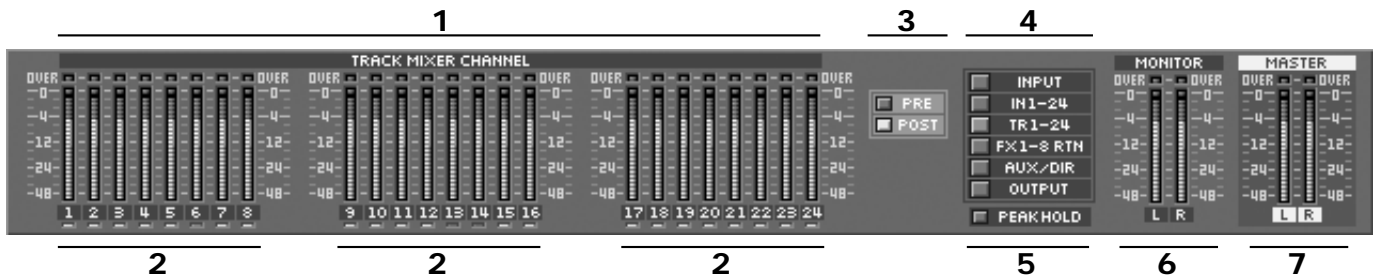
アナログ入力レベルがオーバーすると点灯します。



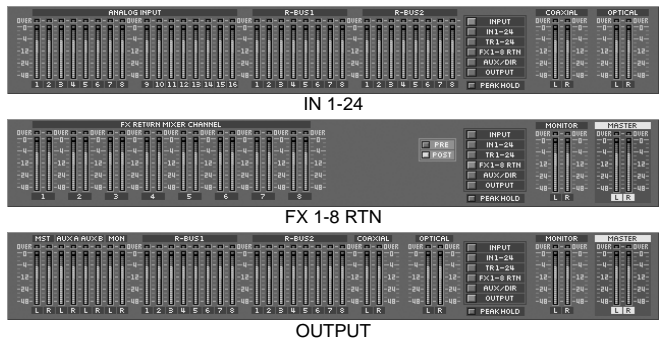
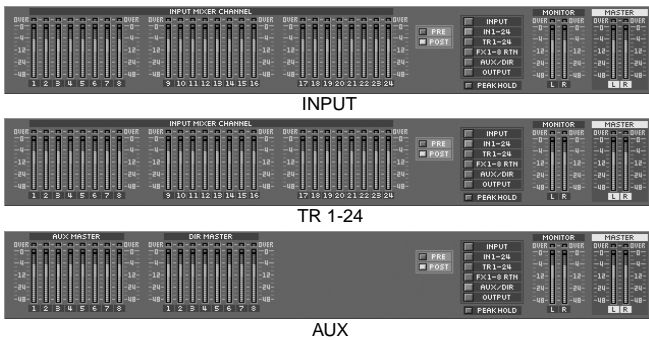
ホーム (HOME) 画面



レベル・メーター



1. レベル・メーター
2. トラック・ステータス
3. レベル測定ポイント
4. レベル・メーター表示切り替え
表示切り替えでレベルメーターは次のように切り替わります。



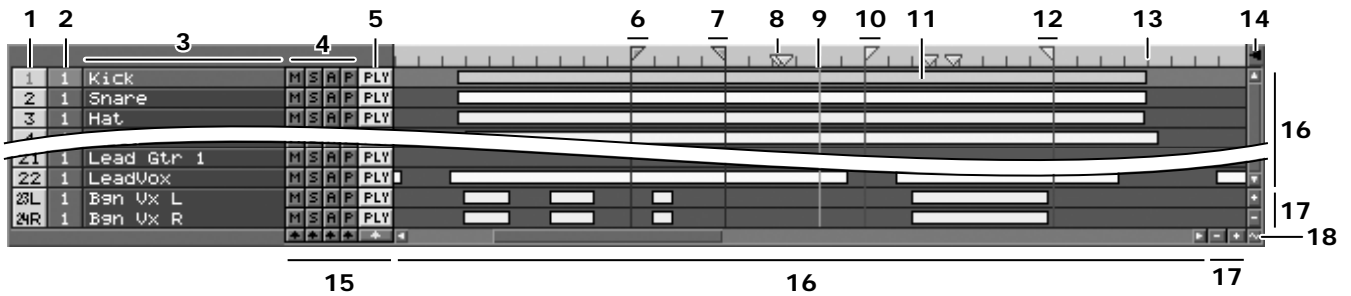
5. ピーク・ホールド・スイッチ
6. モニター・レベル・メーター
7. マスター・レベル・メーター

IN-OUT-FROM-TO ポイント表示



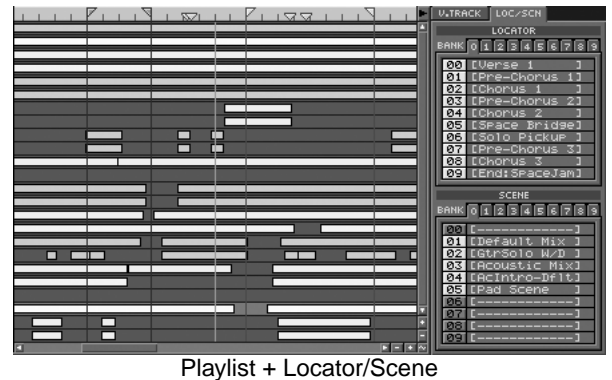
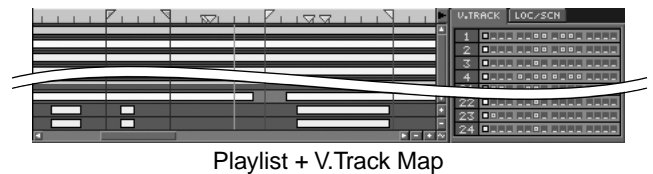
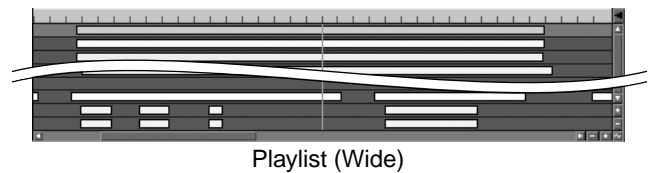
1. IN ポイント時刻
2. OUT ポイント時刻
3. FROM ポイント時刻
4. TO ポイント時刻
5. マウス・カーソルでポイントされている (位置する) プレイリスト上での時刻
6. グリッド・スイッチ
7. エディット・モード (REGION/PHRASE) 切り替えスイッチ

プレイリスト



1. **1** 物理トラック番号
2. **■** Vトラック番号
クリックすると、V.Track Change Popup を表示します。ここでVトラックを変更することができます。
3. **Kick** トラック・ネーム
4. **M** ミュート・スイッチ
クリックして黄色にするとミュートがオンになります。もう一度クリックするとミュートはオフになります。
S ソロ・スイッチ
クリックして青色にするとソロがオンになります。もう一度クリックするとソロはオフになります。
R オートミックス・ステータス
P フレーズ・シーケンス・ステータス
オートミックスと、フレーズ・シーケンスの状態を色で表します。
 - ・ オレンジ：Manual（手動）
 - ・ 赤：Write（記録）
 - ・ 緑：Read（再生）
5. **PLY REC OFF** トラック・ステータス
ステータスによって表示が切り替わります。
6. IN ポイント
7. OUT ポイント
8. マーカー・ポイント
 - ・ オレンジ：マーカー
 - ・ 青：CDトラック・マーカー
9. 現在時刻（Now Time）ライン
10. FROM ポイント
11. プレイリスト（フレーズ）
12. TO ポイント

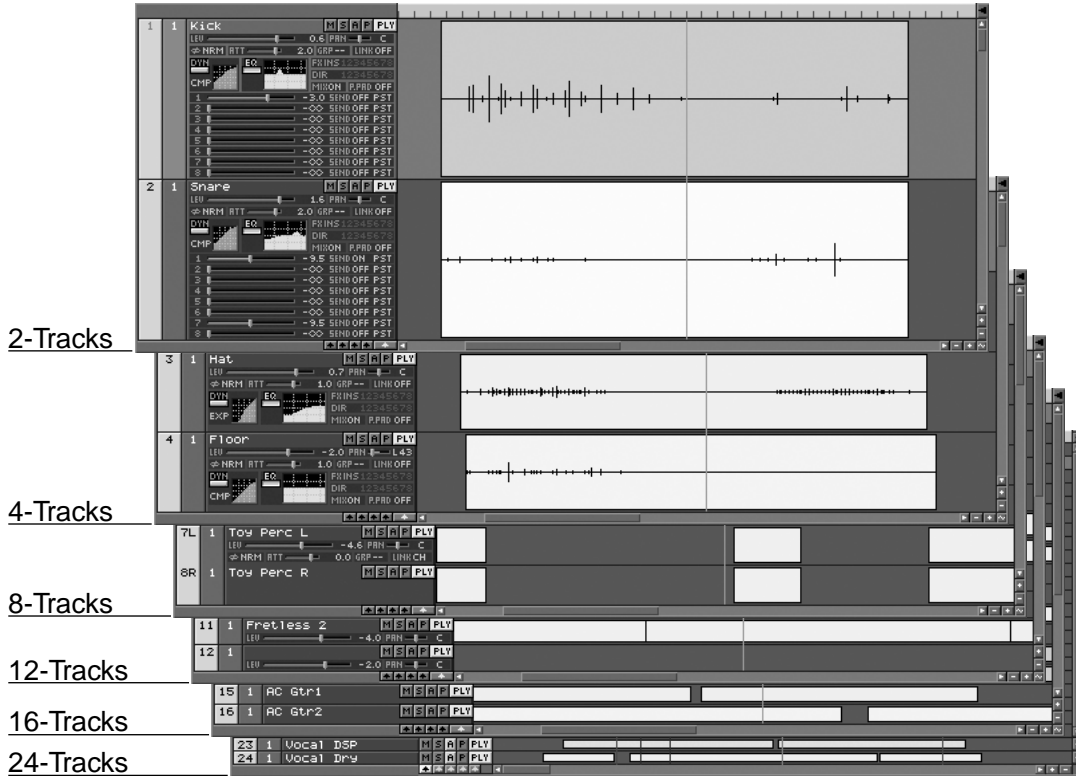
13. 小節目盛り
14. **■** プレイリスト切り替えボタン
このボタンでプレイリストのワイド表示、Vトラック・マップやロケーター、マーカー、シーン操作画面の併用表示を切り替えます。



15. **■** モード・リセット・ボタン
各チャンネルのミュート、ソロ・スイッチをすべてオフにします。また、オートミックスやフレーズ・シーケンス・ステータスは Manual - Write - Read の順序で一斉に切り替わります。
16. スクロール・バー

17. ズーム

プレイリストの縮尺を切り替えます。トラック方向（縦）のズームを切り替えると、表示されるパラメーターが変わります。



18. ウェーブ・ディスプレイ・ボタン

選択されているトラックの波形を表示します。

ファンクション・ボタン / ステータス部



- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|

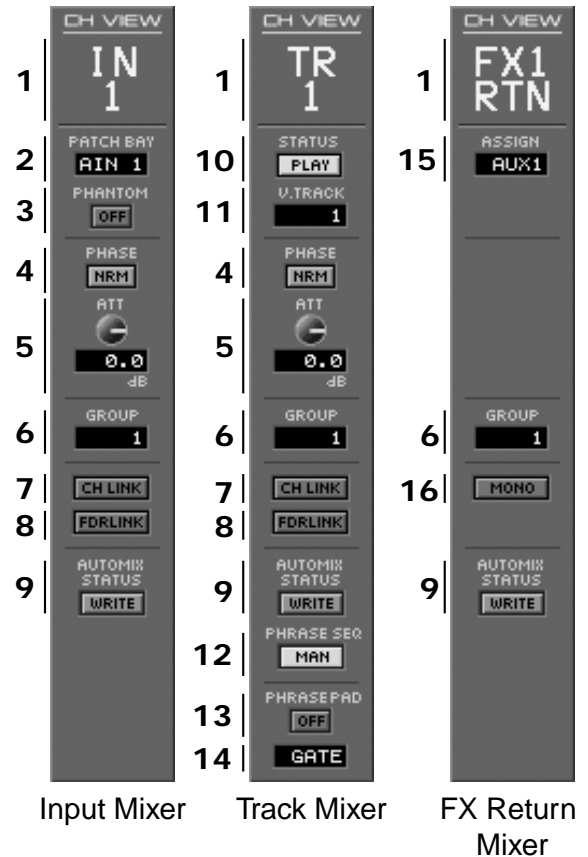
1. ページ切り替えボタン
2. ファンクション・ボタン (F1-F6)
3. 状態表示 (SOLO/MUTE/PHRASE SEQ/MASTERING ROOM)
4. ディスク残量メーター
5. 録音可能残り時間

ミキサー (MIXER) 画面 / チャンネル・ビュー

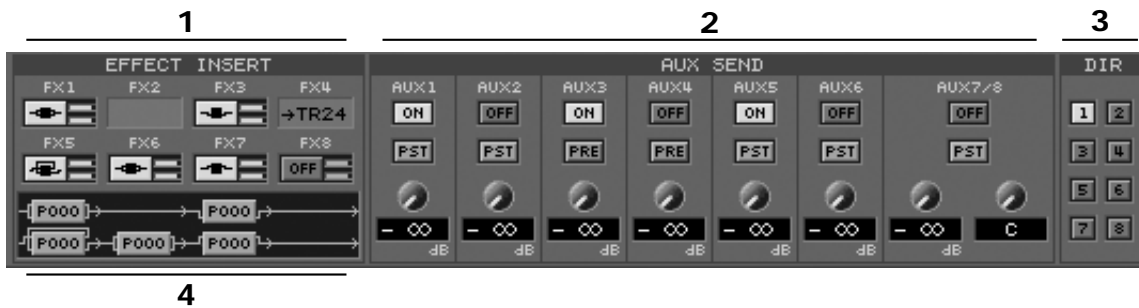
共通部

画面左部

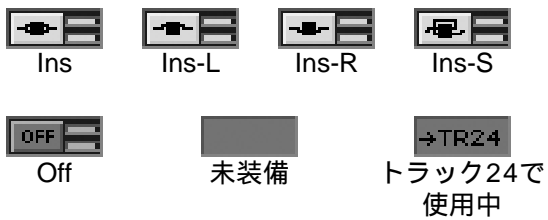
1. チャンネル番号
2. パッチ・ベイ
3. ファンタム電源スイッチ
4. フェーズ・スイッチ
5. アッテネーターつまみ
6. フェーダー・グループ切り替え
7. チャンネル・リンク・スイッチ
8. フェーダー・リンク・スイッチ
9. オートミックス・ステータス・ボタン
10. トラック・ステータス・ボタン
11. Vトラック番号
12. フレーズ・シーケンス・ステータス・ボタン
13. フレーズ・パッド・スイッチ
14. フレーズ・パッド・モード切り替え
15. AUXバス・アサイン
16. モノ・スイッチ



画面下部



1. エフェクト・インサート（インプット/トラック・ミキサー時）



インサート状態によって表示が変わります。2本のグラフのうち上は、エフェクト・SEND・レベル、下はエフェクト・リターン・レベルを示します。



エフェクト・リターン・ミキサーのチャンネル・ビューでは表示されません。

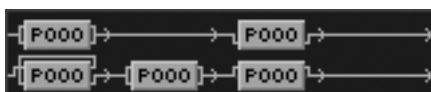
- AUX SEND・スイッチ
 AUX SEND・ポイント切り替え
 AUX SEND・レベルつまみ



プリ、ポストの変更は AUX バス単位で変更されます。

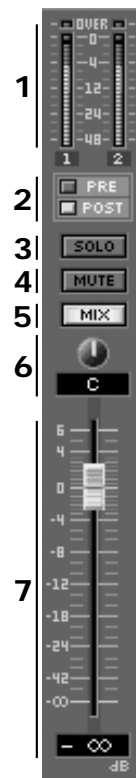
3. DIR SEND・スイッチ

- 左上から右へ FX1、FX2、... と接続され、右下が FX8 になります。音声は FX1 から FX8 に向かって流れます。各エフェクトに表示された番号はエフェクト・パッチ番号です。

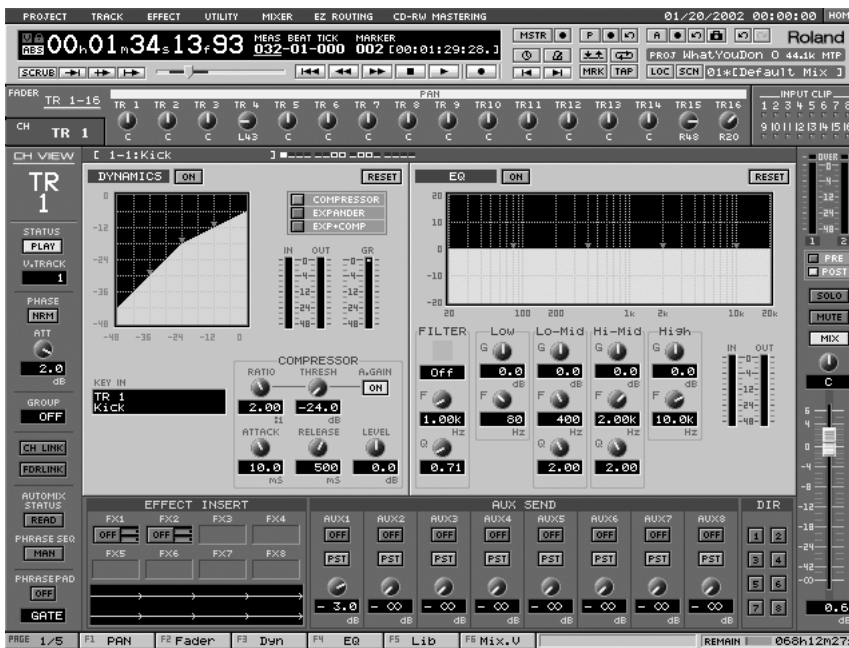


画面右部

- レベル・メーター
- レベル測定ポイント (PRE/POST) 切り替え
- ソロ・スイッチ
- ミュート・スイッチ
- ミックス・バス・SEND・スイッチ
- パンつまみ
- チャンネル・フェーダー

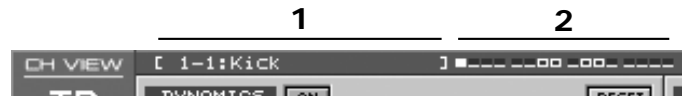


チャンネル・ビュー（インプット/トラック・ミキサー）

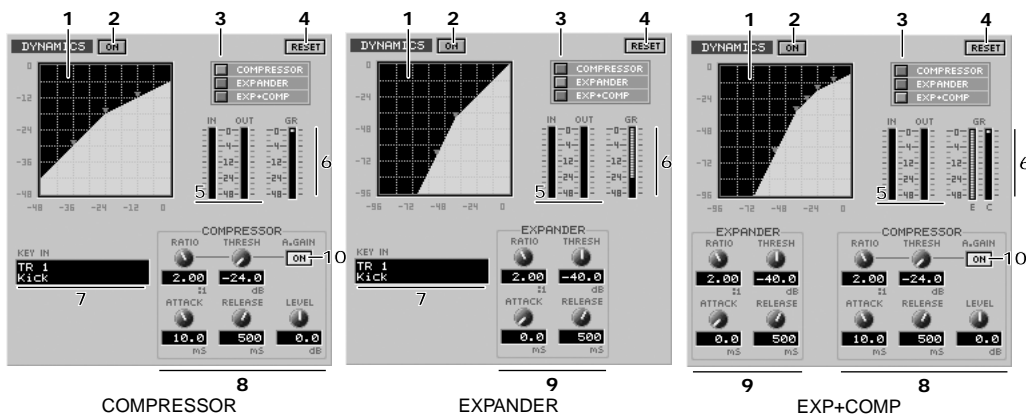


トラック・ミキサーのみで表示

1. Vトラック番号、トラック・ネーム
2. Vトラック・マップ



ダイナミクス



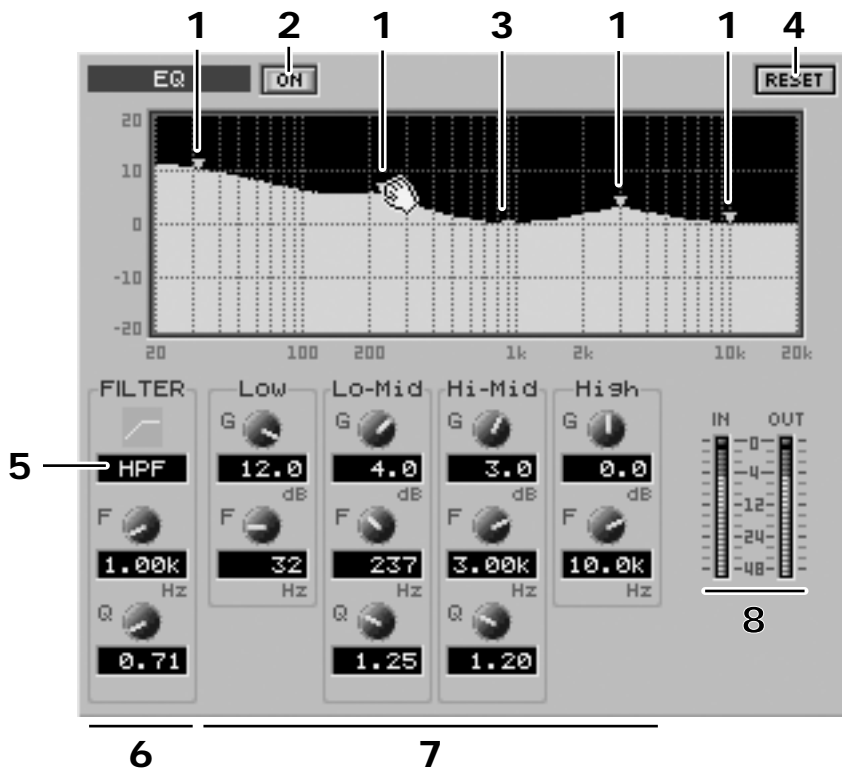
1. ダイナミクス・カーブ
ポイントをドラッグすることでダイナミクス・パラメーターを調整することができます。
2. ダイナミクス・スイッチ
3. ダイナミクス・モード
4. ダイナミクス・リセット・ボタン
5. レベル・メーター
6. ゲイン・リダクション・メーター



ご注意!
EXP+COMP モードはインプット・ミキサー側で使用した場合、トラック・ミキサーで使用することはできません。同様にトラック・ミキサーで使用した場合、インプット・ミキサー側で使用することはできません。

7. キー・イン
8. コンプレッサー設定つまみ
9. エキスパンダー設定つまみ
10. オート・ゲイン・スイッチ

イコライザー

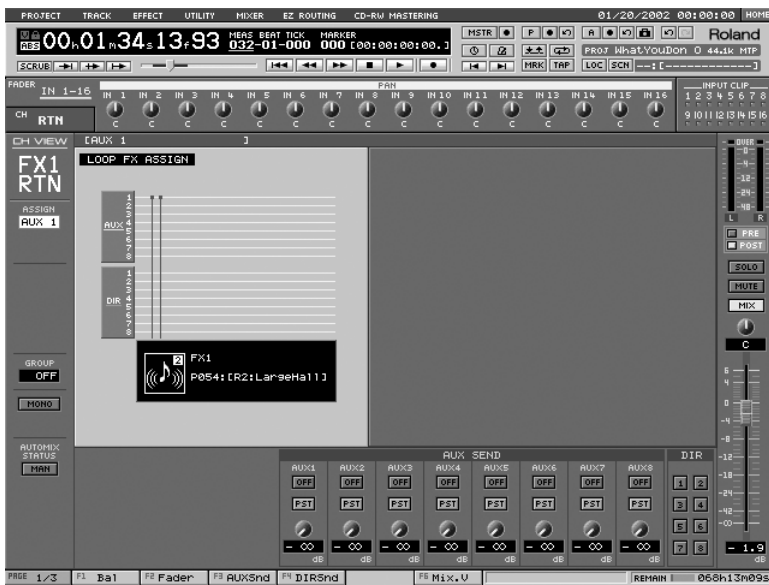


1. イコライザー・カーブ調整ポイント
ポイントをドラッグすることでイコライザー・パラメーターを調整することができます。
2. イコライザー・スイッチ
3. イコライザー・カーブ
4. イコライザー・リセット・ボタン
イコライザー設定をフラットな特性に戻します。
5. フィルター設定
使うフィルターによってアイコンは以下のように切り替わります。



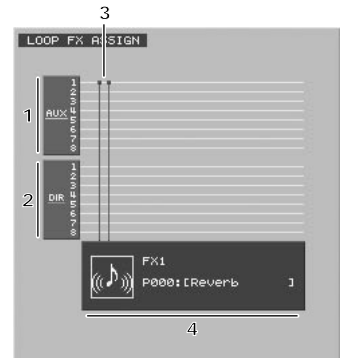
6. フィルター調整つまみ
7. イコライザー調整つまみ
8. レベル・メーター

チャンネル・ビュー（エフェクト・リターン・ミキサー）



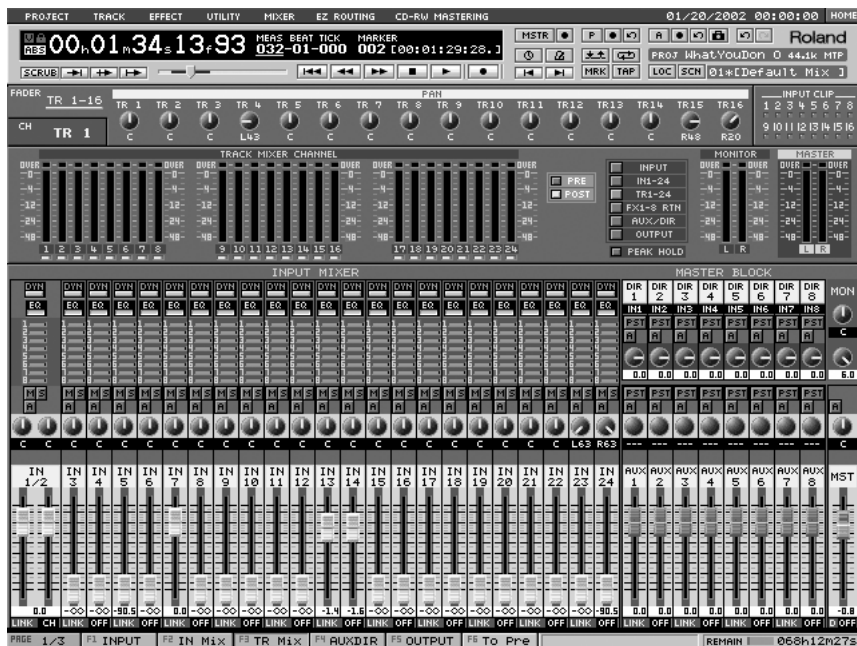
ループ・エフェクト・アサイン

1. AUXバス
2. DIRバス
3. エフェクトに入力する信号の切り替え
エフェクトに入力したい信号をこの接続ポイントをドラッグすることで選択することができます。
4. 使用エフェクト・パッチ名



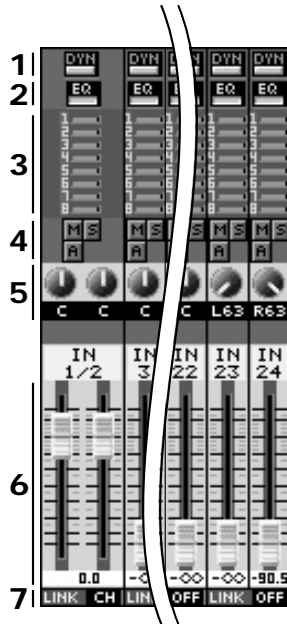
ミキサー（MIXER）画面 / ミキサー・ビュー

ミキサー・ビュー（インプット・ミキサー / マスター・ブロック）

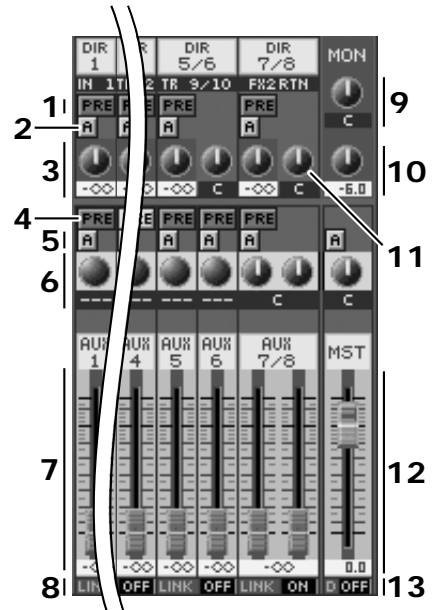


インプット・ミキサー

1. ダイナミクス・スイッチ
2. イコライザー・スイッチ
3. AUXセンド・レベル
4. ミュート・スイッチ
5. ソロ・スイッチ
6. オートミックス・ステータス
7. パン(バランス)つまみ
8. インプット・チャンネル・フェーダー
9. リンク・スイッチ



マスター・ブロック



1. DIRパス・センド・ポイント切り替えスイッチ
2. DIRパス・オートミックス・ステータス
3. DIRパス・レベル
4. AUXバス・センド・ポイント切り替えスイッチ

△注意!

プリ、ポストの変更はAUXバス単位で変更されます。

5. AUXバス・オートミックス・ステータス
6. AUXバス・バランスつまみ
7. AUXマスター・レベル・フェーダー
8. AUXバス・リンク・スイッチ
9. モニター・パンつまみ
10. モニター・レベルつまみ(表示のみ)

△注意!

モニター・レベルは画面上からは変更することはできません。本体に用意されたモニター・レベルつまみで調整してください。

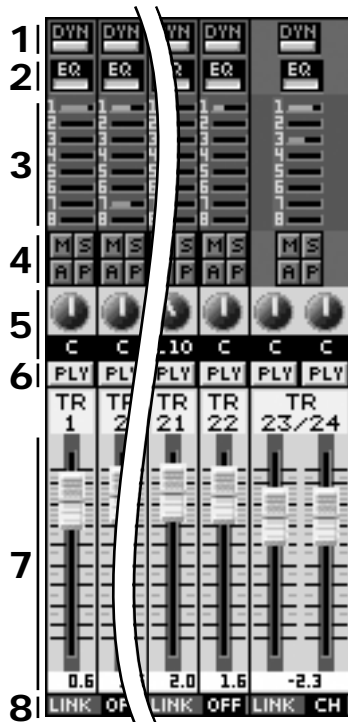
11. DIRパス・センド・パンつまみ
12. マスター・フェーダー
13. ディザ・ビット(Off/24/23/.../8)切り替え

ミキサー・ビュー (トラック・ミキサー / エフェクト・リターン・ミキサー)



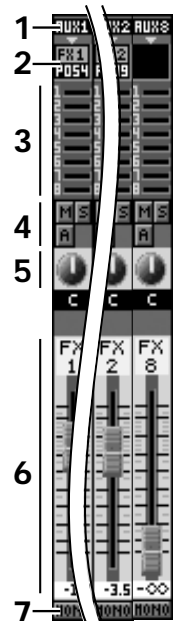
トラック・ミキサー

1. ダイナミクス・スイッチ
2. イコライザー・スイッチ
3. AUX センド・レベル
4. **M** ミュート・スイッチ
5. **S** ソロ・スイッチ
6. **A** オートミックス・ステータス
7. **F** フレーズ・シーケンス・ステータス
8. パン (バランス) つまみ
9. **PLY** **REC** **OFF** トラック・ステータス
10. トラック・チャンネル・フェーダー
11. リンク・スイッチ



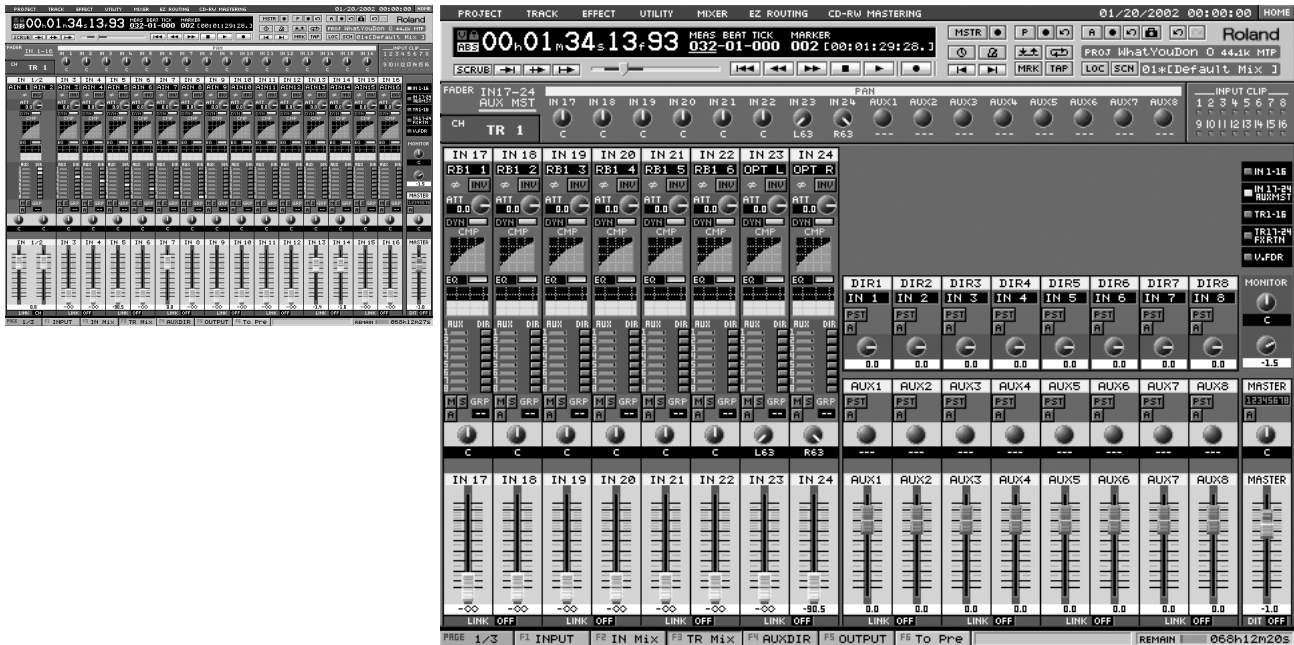
エフェクト・リターン・ミキサー

1. エフェクト・バス・アサイン
使用するバスを選択するためのポップアップを表示します。
2. 使用エフェクト・パッチ番号
3. AUX センド・レベル
4. **M** ミュート・スイッチ
5. **S** ソロ・スイッチ
6. **A** オートミックス・ステータス
7. パンつまみ
8. エフェクト・リターン・チャンネル・フェーダー
9. モノ・スイッチ

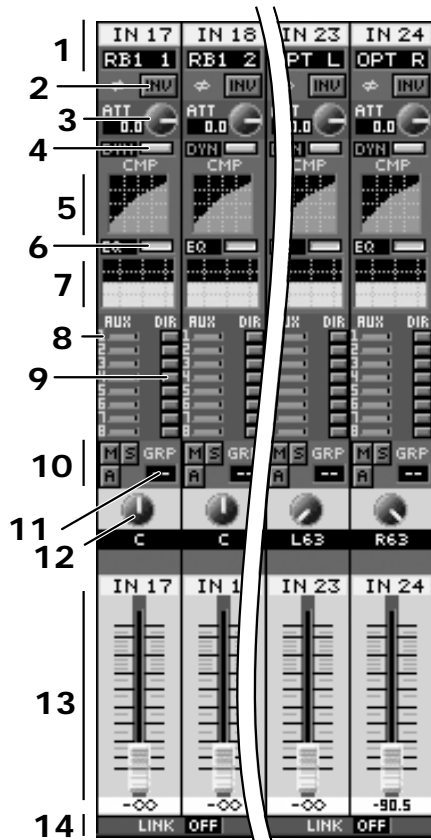


ミキサー (MIXER) 画面 / マルチ・チャンネル・ストリップ・ビュー

INPUT MIXER 1 ~ 16、INPUT MIXER 17 ~ 24 / AUX MST



インプット・ミキサー



1. インプット・ソース
2. フェーズ・スイッチ
3. アッテネーターつまみ
4. ダイナミクス・スイッチ
5. ダイナミクス・グラフ
6. イコライザー・スイッチ
7. イコライザー・グラフ
8. AUX センド・レベル
9. DIR センド・スイッチ
10. ミュート・スイッチ
 ソロ・スイッチ
 オートミックス・ステータス
11. グループ・フェーダー・スイッチ
12. パン (バランス) つまみ
13. インプット・ミキサー・チャンネル・フェーダー
14. リンク・スイッチ

VGA 画面に表示される各部の名称

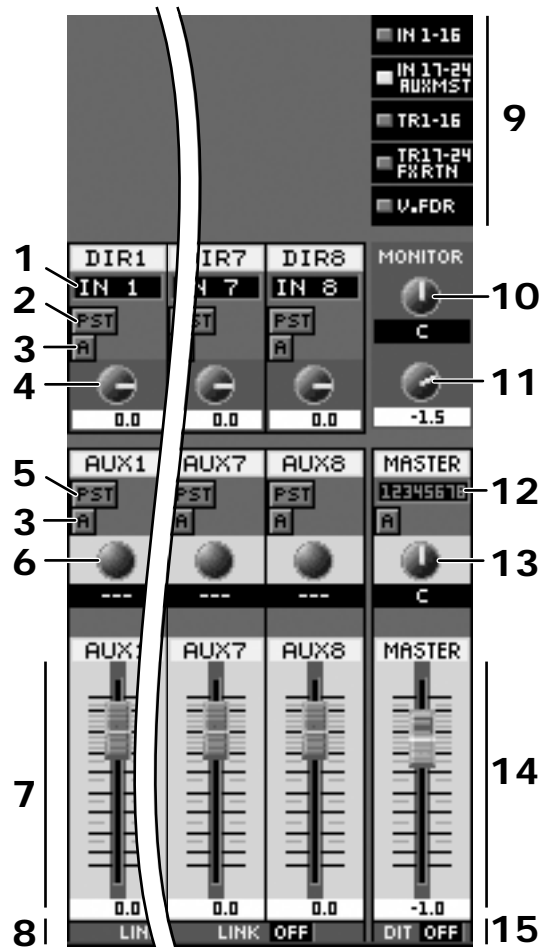
AUX パス (DIR パス) マスター

1. DIR パス・ソース
2. DIR パス・プリ/ポスト切り替えスイッチ
3. オートミックス・ステータス
4. DIR マスター・レベルつまみ
5. AUX パス・プリ/ポスト切り替えスイッチ
6. バランスつまみ (リンク時のみ)
7. AUX マスター・レベル・フェーダー
8. リンク・スイッチ
9. マルチ・ビュー切り替えスイッチ
10. モニター・パン
11. モニター・レベルつまみ (表示のみ)

注意!

モニター・レベルは画面上からは変更することはできません。本体に用意されたモニター・レベルつまみで調整してください。

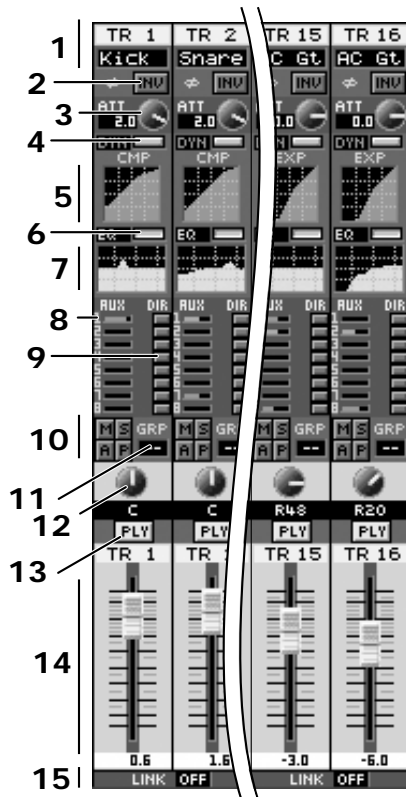
12. マスター・エフェクト・インサート表示
13. マスター・パンつまみ
14. マスター・レベル・フェーダー
15. ディザー・ビット (Off/24/23/.../8) 切り替え



TRACK MIXER 1 ~ 16, TRACK MIXER 17 ~ 24 / FX RTN

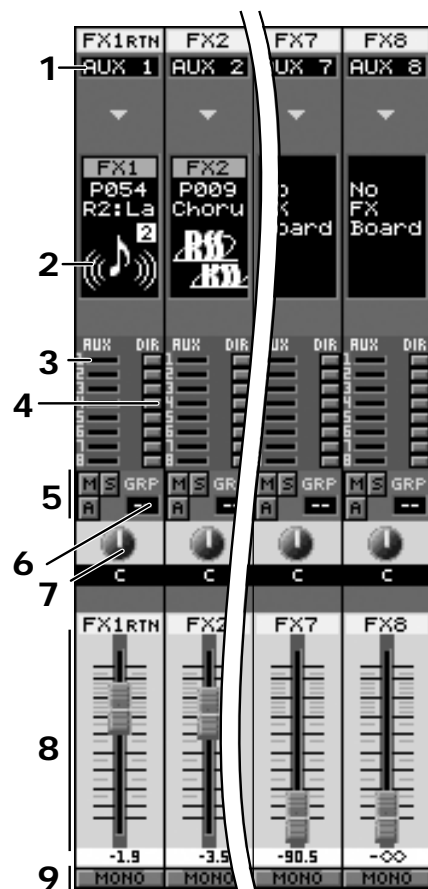


トラック・ミキサー



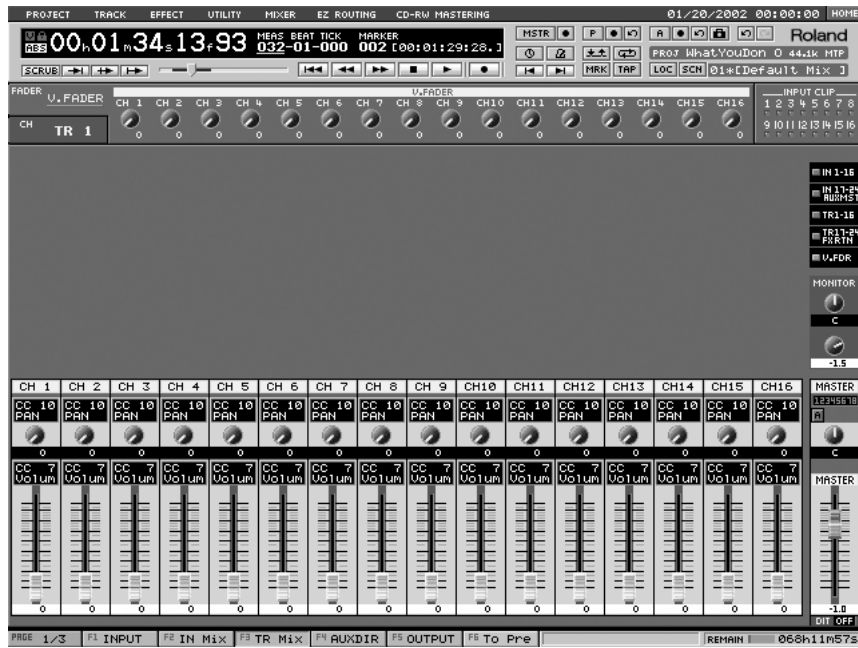
1. Vトラック切り替え
2. フェーズ・スイッチ
3. アッテネーター
4. ダイナミクス・スイッチ
5. ダイナミクス・グラフ
6. イコライザー・スイッチ
7. イコライザー・グラフ
8. AUXセンド・レベル
9. DIRセンド・スイッチ
10. ミュート・スイッチ
 ソロ・スイッチ
 オートミックス・ステータス
 フレーズ・シーケンス・ステータス
11. グループ・フェーダー・スイッチ
12. パン (バランス) つまみ
13. PLY REC OFF トラック・ステータス
14. トラック・ミキサー・チャンネル・フェーダー
15. リンク・スイッチ

エフェクト・リターン・ミキサー



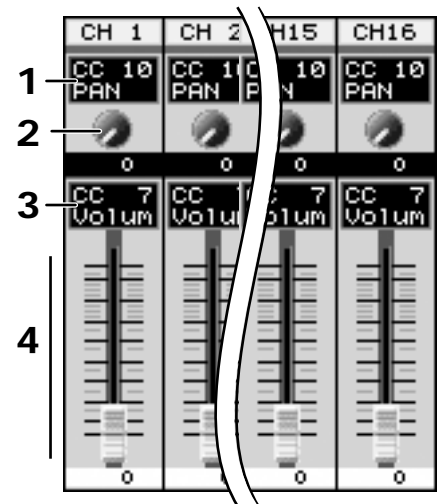
1. AUXバス・アサイン
2. 使用エフェクト・パッチ番号
3. AUXセンド・レベル
4. DIRセンド・スイッチ
5. ミュート・スイッチ
 ソロ・スイッチ
 オートミックス・ステータス
6. グループ・フェーダー・スイッチ
7. パンつまみ
8. エフェクト・リターン・チャンネル・フェーダー
9. モノ・スイッチ

V フェーダー



V フェーダー

1. つまみパラメーター切り替え
2. つまみ
3. フェーダー・パラメーター切り替え
4. フェーダー

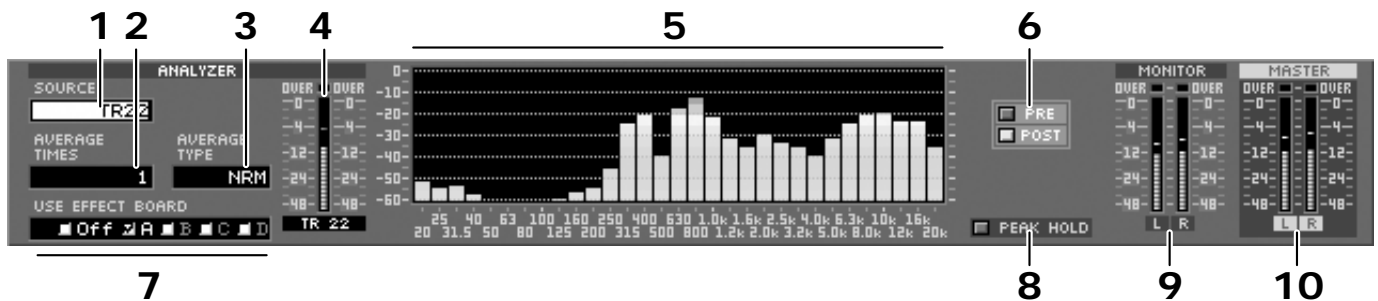


ユーティリティー (UTILITY) 画面

アナライザー (ANALYZER) 画面



アナライザー部



1. アナライザー・ソース
2. アベレージ・タイム
3. アベレージ・タイプ
4. ソース・レベル・メーター
5. アナライザー
6. プリ/ポスト切り替え
7. 使用エフェクト・ボード切り替え
8. ピーク・ホールド・スイッチ
9. モニター・レベル
10. マスター・レベル



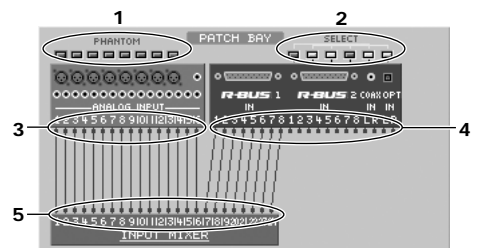
“USE EFFECT BOARD”
で使用するエフェクト・
ボードを決定すると、その
エフェクト・ボードはアナ
ライザーの処理専用になり
ます。たとえば“ A ”を選
択すると、FX1、FX2 をエ
フェクトとして使うことが
できません。FX1、FX2 を
使いたい場合は、アナライ
ザー画面で USE EFFECT
BOARD を “ Off ” にする
必要があります。

イーザー・ルーティング (EZ ROUTING) 画面



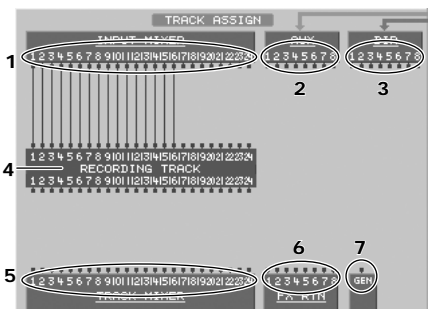
パッチ・ベイ部

1. ファンタム電源スイッチ
アナログ入力の XLR 端子 (1 ~ 8チャンネル) にファンタム電源 (+48V) を供給するときはこのスイッチをクリックして点灯させます。
2. デジタル・インプット・セレクト・スイッチ
S/PDIF によるデジタル入力と R-BUS2 コネクタの間には同時に使用できるチャンネルに制限があります。使用したい入力チャンネルのスイッチをクリックして点灯させます。
3. アナログ入力部
4. デジタル入力部
5. インプット・ミキサー部
インプット・ミキサーからジャックに対して接続ポイントをドラッグして接続することができます。



トラック・アサイン部

1. インプット・ミキサー
2. AUX バス
3. DIR パス
4. レコーディング・トラック
実際に音声を録音する場所です。各レコーディング・トラックと音源をアサイン (結線) することで録音されるようになります。



アサインはインプット・ミキサー、トラック・ミキサーなどの接続ポイントをドラッグして接続することができます。

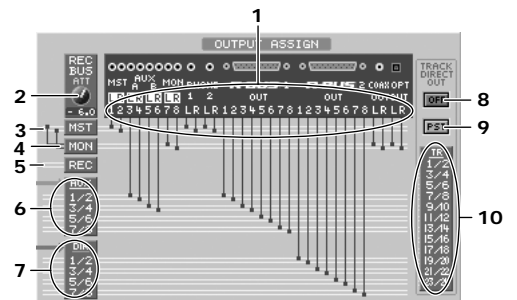
5. トラック・ミキサー
6. エフェクト・リターン・ミキサー
7. ジェネレーター

ご注意!

同一チャンネルのトラック・ミキサーとレコーディング・トラックを接続することはできません。

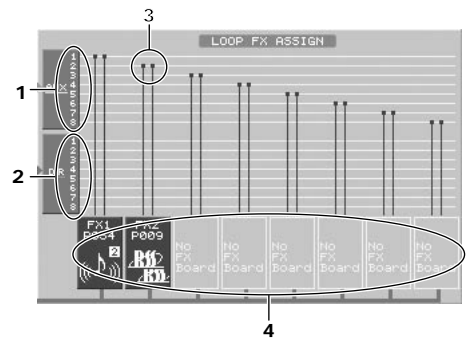
アウトプット・アサイン部

1. アウトプット・コネクタ
2. レコーディング・バス・アッテネーター
3. マスター・バス
4. モニター・バス
5. レコーディング・バス
6. AUXバス
7. DIR パス
8. トラック・ダイレクト・アウト・スイッチ
トラック・ダイレクト・アウトが“ON”のときはトラック・ミキサー・チャンネルの音声が出プット・ジャックに接続されます。
9. トラック・ダイレクト・アウト・プリ/ポスト切り替えスイッチ
10. トラック・ミキサー



ループ・エフェクト・アサイン部

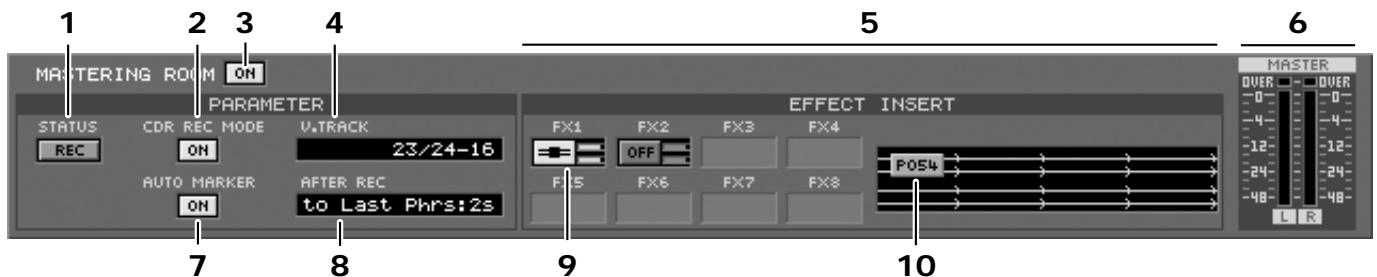
1. AUXバス
2. DIR パス
3. エフェクトに入力する信号の切り替え
エフェクトに入力したい信号をこの接続ポイントをドラッグすることで選択することができます。
4. 使用エフェクト・パッチ番号



CD-RW マスタリング (CD-RW MASTERING) 画面



マスタリング・ルーム部



1. マスタリング・トラック・ステータス
2. マスタリング・トラック・CD-R REC モード
3. マスタリング・ルーム・スイッチ
4. マスタリング・トラック・ネーム
5. エフェクト・インサート
6. レベル・メーター
7. オート・マーカー
8. アフター・レコーディング・パラメーター
9. インサート・エフェクト・モード/センド・リターン・レベル
10. エフェクト接続図

バージョン 2.00 から追加された機能

ローランド VS-2480 システム・バージョン 2.00 (以下 VS-2480)、VS-2480CD では次の機能をお使いいただけます。

- ・ 外部接続の VGA ディスプレイでのマウス・オペレーション
- ・ 個々のフレーズのレベル調整 (フレーズ・レベル)
- ・ 音楽 CD からのキャプチャー機能 (CD キャプチャー)
- ・ 複数パターンのオートミックス・データ作成
- ・ マウス操作によるフレーズのトリム・イン/トリム・アウト
- ・ ショートカット・ボタンの追加

外部接続の VGA ディスプレイで VS-2480 を操作する

VS-2480/2480CD では外部に接続された VGA ディスプレイとマウスを使用して操作が行えます。

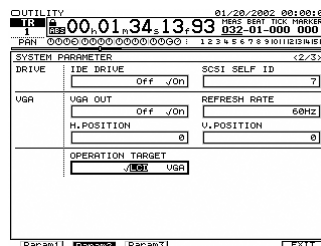
VGA ディスプレイに表示されるつまみやボタンの機能や名称についてはこの説明書の「VGA 画面に表示される各部の名称 (P.3)」に詳しく解説されています。

操作画面を切り替えるには

VS-2480/2480CD では、操作の対象となる画面を選択する必要があります。本体 LCD (液晶ディスプレイ) 上のパラメーターで操作しているときは、VGA ディスプレイは表示のみとなります。VGA ディスプレイ上のパラメーターを使って操作したいときは操作対象のディスプレイを VGA 側に切り替えてください。

VGA ディスプレイで操作するには

1. [UTILITY] を押します。
2. PAGE1 タブの [F1 (SYSTEM)] を押します。
3. [F2 (Param2)] を押します。
4. “OPERATION TARGET” までカーソルを動かし、TIME/VALUE ダイアルで “VGA” を選びます。VGA ディスプレイ上のパラメーターを操作することができます。



本体 LCD で操作するには

1. VGA 画面上部 “UTILITY” をクリックします。
2. “SYSTEM PARAMETER” をクリックします。システム・パラメーター画面が表示されます。
3. “F2 (Param2)” をクリックします。
4. “OPERATION TARGET” パラメーターの “LCD” をクリックします。LCD 上のパラメーターを操作できるようになります。

操作ディスプレイを瞬時に入れ替えるには

操作対象ディスプレイを交互に切り替えることができます。

1. [SHIFT] を押しながら [UTILITY] を押します。



[SHIFT] を押しながら [UTILITY] を押すような操作は以降、[SHIFT] + [UTILITY] と表記します。



操作対象ディスプレイが LCD のときに手順 1 を行くと、操作対象ディスプレイは VGA になります。もう一度手順 1 を行くと、LCD に戻ります。

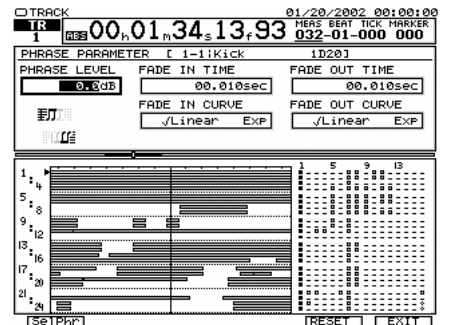
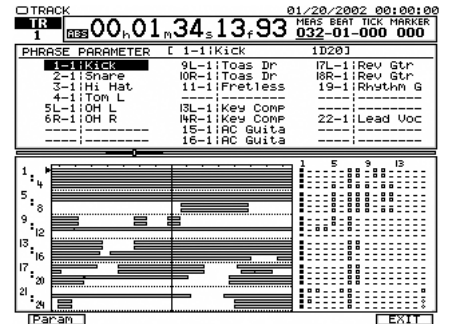
フレーズの音量を変えるには (フレーズ・パラメーター)

録音されたフレーズの音量をあとから調整することができます。フレーズ・パラメーター機能で、フレーズ単体でのフェード・イン、フェード・アウトをさせることができます。

フレーズをフェード・インさせるには

フレーズ・パラメーターを使ってフレーズにフェード・イン効果を与えてみましょう。

1. VS-2480/2480CD 本体からは [TRACK] を押してトラック・エディット・メニューを表示させます。[F6 (Reg→Ph)] (または [REGION/PHRASE]) を押して [REGION/PHRASE] ボタンを緑色に点灯させます。PAGE 3 の [F1 (PARAM)] を押します。VGA 画面ではメニューから “TRACK” をクリックし “PHRASE PARAMETER” を選びます。フレーズ・パラメーター画面が表示されます。
2. フェード・イン効果をつけたいフレーズを選択します。
3. [F1 (PARAM)] を押します (クリックします)。パラメーターがエディットできるようになります。



メモ

[F5 (RESET)] を押すと以下のパラメーターに設定されます。

フレーズ・レベル: 0 dB

フェード・イン/アウト・タイム: 0.01sec

フェード・イン/アウト・カーブ: “PLAY/REC パラメーター” で設定された値

PHRASE LEVEL

フェード・イン効果が終わるときに到達するレベル。またはフェード・アウト効果が始まるときのレベル。

FADE IN TIME、FADE OUT TIME

フェード・イン、フェード・アウト効果の時間

FADE IN CURVE、FADE OUT CURVE

フェード効果による音量変化のタイプを切り替えます。“Linear” ではフレーズの音量制御を直線的に変化させます。“Exp” での音量制御は指数関数で変化します。このとき、聴感上の音量変化は直線的になります。

ご注意!

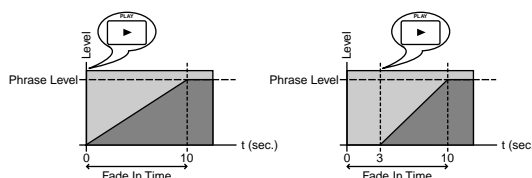
FADE IN TIME、FADE OUT TIME に極端に短い時間 (0.02sec 以下) を設定すると再生時に「プチッ」とノイズが聞こえることがあります。このときは設定時間を 0.02sec より長くしてください。

フレーズの途中から再生させたときの音量変化

フレーズ・パラメーターで音量を変化させたフレーズに対し、フレーズの途中から再生するとFADE IN TIMEパラメーターで設定した時間とは異なる音量変化をします。フレーズの途中の時刻にロケートした場合などは次のような処理になります。

(例) FADE IN TIME=10.00 sec でフレーズの先頭から 3 秒の位置にロケートしたあとに再生する場合

通常のフェード・インはフレーズ先頭から 10 秒間でレベルが - から設定された PHRASE LEVEL に達します。フレーズ先頭から 3 秒の位置より再生すると、7 秒間でレベルが - から PHRASE LEVEL に達します。このような変化はフェード・アウトでも同様です。

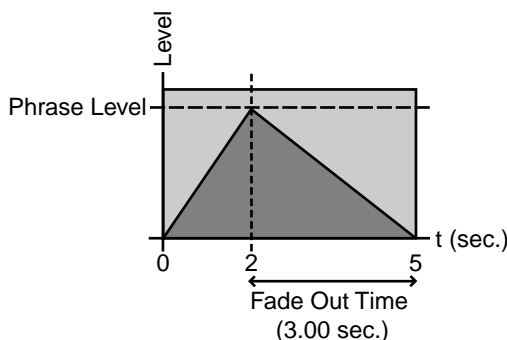


FADE IN TIME、FADE OUT TIME とフレーズの長さについて

フレーズの長さよりフェード・インやフェード・アウトの効果がかかる時間が長いときは FADE OUT TIME の時間を優先して処理を行います。

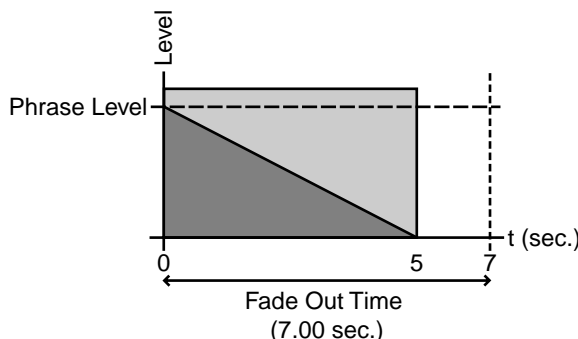
(例 1) フレーズの長さよりフェード時間 (FADE IN TIME + FADE OUT TIME) が長いとき

フレーズの長さが 5 秒、FADE IN TIME、FADE OUT TIME がともに 3.00 秒のときは、FADE OUT TIME を優先 (FADE IN TIME の設定は無視) します。



(例 2) フレーズの長さよりフェード・アウト時間が長いとき

フレーズの長さが 5 秒、FADE OUT TIME を 7.00 秒に設定したときは FADE OUT TIME をフレーズの長さ (この例の場合は 5 秒) として音量を変化させます。



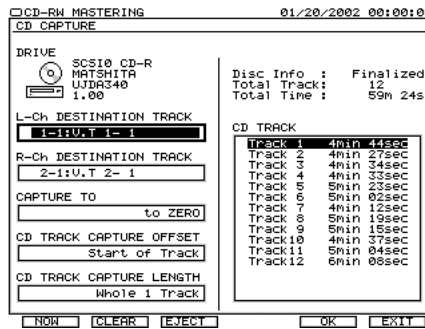
音楽 CD から音声を取り込むには (CD キャプチャー)

オーディオ CD の音声を、トラック単位で取り込み (キャプチャー) ます。

VS-2480 VS-2480 へ CD-RW ドライブの接続するには、「外付けの CD-RW ドライブを接続する」(取扱説明書 P.182) をお読みください。

1. 取り込みたい音声のある CD-R / RW ディスク、またはオーディオ CD を CD-RW ドライブに入れます。

2. 本体からは **[CD-RW MASTERING]** を押します。CD-RW / マスタリング・メニューが表示されます。PAGE 2 の **[F1 (CDCapt)]** を押します。VGA 画面ではメニューから “CD-RW MASTERING” をクリックし “CD CAPTURE” をクリックします。CD キャプチャー画面が表示されます。



- **[F1 (NOW)]**
再生中に押すと再生時刻を “CD TRACK CAPTURE OFFSET” にセットします。
- **[F2 (CLEAR)]**
“CD TRACK CAPTURE OFFSET” をトラックの先頭、“CD TRACK CAPTURE LENGTH” をそのトラック全体の長さにセットします。
- **[F3 (EJECT)]**
CD-R/RW ドライブから CD を取り出します。
- **[F5 (OK)]** 指定の設定で音楽 CD の取り込みを開始します。
- **[F6 (CANCEL)]** CD CAPTURE 画面から抜けます。

3. **[▲ I ▼ I ◀ I ▶ I]** やマウスでカーソルを移動させ、TIME/VALUE ダイアル、マウスでそれぞれの値を設定します。

L-Ch DESTINATION TRACK (L チャンネル・デスティネーション・トラック)

オーディオ CD の L チャンネルの音声を、どのトラックに取り込むかを決めます。

R-Ch DESTINATION TRACK (R チャンネル・デスティネーション・トラック)

オーディオ CD の R チャンネルの音声を、どのトラックに取り込むかを決めます。

CAPTURE TO (キャプチャー・トゥ)

取り込んだ音声を、どの時刻に配置するかを決めます。

- to ZERO: 「00h00m00s00f」を先頭にして配置します。
- to Last Phrs: 0S: 取り込み先トラックの最後のフレーズの末尾に配置します。
- to Last Phrs: 2S: 取り込み先トラックの最後のフレーズの末尾から 2 秒後に配置します。
- to Last Phrs: 4S: 取り込み先トラックの最後のフレーズの末尾から 4 秒後に配置します。

CD TRACK CAPTURE OFFSET (CD トラック・キャプチャー・オフセット)

キャプチャーを開始する時刻を指定します。時刻はオーディオ CD トラックの先頭からの時間で指定します。



注意!
カレント・プロジェクトのサンプリング周波数が 44.1kHz のときに限り、音声を取り込むことができます。



VS-2480

CD-RW ドライブを内蔵していない VS-2480 をお使いの場合は、別売の CD-RW ドライブ (ローランド CDR-88RW-2, 3, または 4) が必要です。



トラックの先頭 (時刻 0) の時は “Start Of Track”、トラック全体の長さを指定したときは “Whole 1 Track” と表示されます。



注意!
以下の場合、取り込み先のトラックは必ずステレオ・ペアに設定してください。ステレオ・ペアになっていないと、「Illegal Track Pair!」と表示され、取り込みが実行されません。

- カレント・プロジェクトのレコーディング・モードが「CDR」のとき。
- 取り込み先のトラックに CD-R モードのフレーズが録音されているとき。



注意!
「L-Ch DESTINATION TRACK」に CD-R モードのフレーズが録音されているトラックを選んでいるときは、TIME/VALUE ダイアルを回しても「R-Ch DESTINATION TRACK」は変更されません。

CD TRACK CAPTURE LENGTH (CD トラック・キャプチャー・レングス)

キャプチャーをする時間を指定します。指定した時間の音声を取り込まれます。

CD TRACK

オーディオ CD に記録された各トラックの時間を表示します。

4. [PREVIOUS] または [NEXT] を押して、「CD TRACK」に一覧表示された曲 (トラック) の中から、取り込みたいトラックを選びます。黒く反転しているトラックが、取り込みの対象となります。
5. [F5 (OK)] を押します。著作権についてのメッセージが表示されます。これは取扱説明書裏に記載してある「著作権について」を英訳し、一部を抜粋したものです。よくお読みになり [ENTER/YES] を押します。



以下の条件を満たす場合、「Capture to Mastering Tr. in CDR mode?」(マスタリング・トラックに CDR モードで取り込みますか) というメッセージが表示されます。

- 取り込み先のトラックとして 23-24 トラック (*) が、ステレオ・ペアで選ばれている
- 23-24 トラック (*) に録音データがない

(*) レコーディング・モードが「M16」「M24」のときは、15-16 トラックと読み替えてください。

CDR モードで取り込むときは、[ENTER/YES] を押します。[EXIT/NO] を押すと、カレント・プロジェクトと同じレコーディング・モードで取り込まれます。



[PLAY] を押すと、取り込み対象のトラック (黒く反転) を再生することもできます。



「CD Track」にカーソルがあるときは、[▲] [▼] を押してもトラックが選べます。

「Illegal Track Pair!」と表示されたら

以下の場合、取り込み先のトラックがステレオ・ペアに設定されていないと、取り込みが実行されません。

- カレント・プロジェクトのレコーディング・モードが「CDR」のとき。
- 取り込み先のトラックに CD-R モードのフレーズが録音されているとき。

この場合、[ENTER/YES] を押したあと、手順 4 に戻って取り込み先トラックを設定し直してください。

6. 続いて、許諾条件についてのメッセージが表示されます。これは取扱説明書裏に記載してある「許諾条件について」を英訳したものです。よくお読みになり、許諾条件に同意する場合は [ENTER/YES] を押します ([YES] をクリックします)。「CD Capture..」と表示され、音声の取り込みが実行されます。同意しないならば、[EXIT/NO] を押します ([NO] をクリックします)。
7. 続けてオーディオ CD からほかの音声を取り込むときは、手順 4 に戻って操作します。
8. 取り込みを作業を終了するには、[F6 (EXIT)] を押したあと (クリックしたあと)、[HOME (DISPLAY)] を押すと (クリックすると) ホーム画面に戻ります。

音声の取り込みを中止する

音声の取り込みを途中で中止するには、次のように操作します。

1. [EXIT/NO] を押します ([EXIT] をクリックします)。
「Abort?」と表示されます。
2. [ENTER/YES] を押す ([YES] をクリックする) と、取り込みが中止されます。
[EXIT/NO] を押す ([NO] をクリックする) と、取り込みが再開されます。

音声の取り込み時間について

音声の取り込みにかかる時間は、レコーディング・モードにより、それぞれの次のようになります。

レコーディング・モード

CDR (CD ライティング) 実時間の約 40%

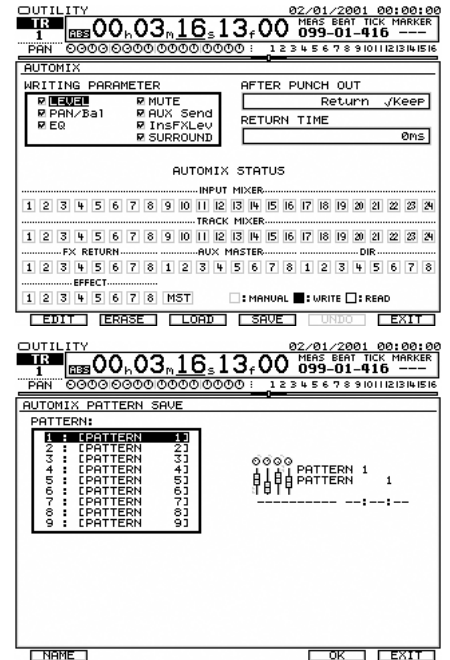
M16, M24 (マスタリング) 実時間の約 80%

その他 実時間の約 150%

オートミックス・データを複数パターン作るには

ひとつのプロジェクトに対し9つのオートミックス・データを持つことができます。

1. オートミックス・データを作ります。
2. 現在のオートミックス・データを保存するには [UTILITY] を押します (クリックします)。PAGE 3 の [F2 (A.MIX)] を押します (クリックします)。オートミックス画面が表示されます。
3. [F4 (SAVE)] を押します (クリックします)。オートミックス・セーブ画面が表示されます。
4. 保存できるオートミックスは9パターンです。保存したい番号にカーソルを移動させ [F5 (OK)] を押します (クリックします)。
“ Save AUTOMIX Pattern? ” と表示されます。
5. 保存するには [ENTER/YES] を押します ([YES] をクリックします)。現在のオートミックス・データが指定の番号に保存されました。保存を取りやめるには [EXIT/NO] を押します ([NO] をクリックします)。



[F1 (NAME)] を押すと保存したオートミックス・パターンに名前をつけることができます。

6. オートミックス・データを続けて編集するには [HOME (DISPLAY)] を押すか VGA 画面右上の“HOME”をクリックするとホーム画面に戻ります。

オートミックス・データを呼び出すには

保存したオートミックス・データを呼び出すことができます。

1. [UTILITY] を押します (クリックします)。PAGE 3 の [F2 (A.MIX)] を押します (クリックします)。オートミックス画面が表示されます。
2. [F3 (LOAD)] を押します (クリックします)。オートミックス・ロード画面が表示されます。
3. 呼び出したいオートミックス・データの番号にカーソルを移動させ [F5 (OK)] を押します (クリックします)。“ Load AUTOMIX Pattern? ” と表示されます。
4. 呼び出すには [ENTER/YES] を押します ([YES] をクリックします)。オートミックス・データが呼び出されます。呼び出しを取りやめるには [EXIT/NO] を押します ([NO] をクリックします)。



オートミックス・データを呼び出すと、現在の保持しているオートミックス・データは失われます。現在のオートミックス・データを失いたくない場合は、呼び出す前に保存 (セーブ) を行ってください。

マウス操作によるフレーズのトリム・イン/トリム・アウト

フレーズ・エディット・モードのときにプレイリストに表示されたフレーズの両端どちらかにマウス・カーソルを近づけるとマウス・カーソルの形が変わります。このときにドラッグを行うと、フレーズのトリム・イン、トリム・アウトをすることができます。

1. [HOME (DISPLAY)] を押します (“ HOME ” をクリックします)。ホーム画面が表示されます。
2. [REGION/PHRASE] を押して PHRASE エディット (緑色) に切り替えます。VGA 画面からは “ エディット・モード (REGION/PHRASE) 切り替えスイッチ ” をクリックして “ PHRASE ” (緑色) にします。フレーズ・エディット・モードになります。
3. トリム・インしたいフレーズの先頭にマウス・カーソルを近づけます。またトリム・アウトしたいフレーズは末端にマウス・カーソルを近づけます。マウス・カーソルの形が変わります。+ [+ +] +
4. このとき、マウスをドラッグさせます。フレーズが伸び縮みします。



マウス操作によるトリム・イン、トリム・アウトはフレーズ・エディット・モードのときのみ有効です。



フレーズの端をドラッグ操作で伸張させたとき、もともとあったフレーズ (テイク) の長さ (実時間) より伸ばすことはできません。

グリッド機能の強化

グリッド機能は、エディット・ポイントを小節、または拍の先頭に合わせることができます。バージョン 2.00 からはグリッド機能有効にするエディット・ポイントを選べるようになります (グリッド・モード)

グリッド・モードの設定

1. [UTILITY] を押します (クリックします)。PAGE1 の [F2 (GLOBAL)] を押します (クリックします)。[F2 (Param2)] を押します (クリックします)。グローバル・パラメーターの 2 ページ目が表示されます。
2. “ GRID MODE ” を選択します。
 - Only TO
トゥ・ポイントだけを、小節、または拍の先頭に合わせることができます。
 - ALL EDIT POINT
すべてのエディット・ポイント (イン / アウト / フロム / トゥ・ポイント) を、小節、または拍の先頭に合わせることができます。



“ GRID MODE ” は、グリッド機能がオンのときに有効です。



[CLEAR] を押しながら、マウス操作をすると、グリッドは一時的に “ Off ” になります。

追加されたショートカット・ボタン

- [SHIFT] + [UTILITY]
操作対象ディスプレイの切り替え (LCD ↔ VGA)
- [HOME (DISPLAY)] 押しながら電源 ON
操作対象ディスプレイを強制的に LCD にした状態で起動
- (本体 LCD にパラメーター・ビューを表示させた状態で) [SHIFT] + [▲] [▼]
他のパラメーターのページに移動
- (本体 LCD にパラメーター・ビューを表示させた状態で) [SHIFT] + [◀] [▶]
次のチャンネル表示ページに移動
- (隣接した) [(奇数) CH EDIT] + [(偶数) CH EDIT]
チャンネル・リンクのオフ / オン
- [SHIFT] + (各種トラック・エディット・ボタン [COPY] [MOVE] など ...)
トラック・エディット画面にジャンプ

追加されたパラメーター

バージョンアップにあたり、パラメーターが追加されています。

- OPERATION TARGET
(オペレーション・ターゲット) [UTILITY] - Page1 [F1 (SYSTEM)] - [F2 (Param2)]
操作対象ディスプレイを本体内蔵 LCD にするか外部接続 VGA にするかを設定します。
- MOUSE BUTTON SWAP Sw
(マウス・ボタン・スワップ・スイッチ) [UTILITY] - Page1 [F1 (SYSTEM)] - [F3 (Param3)]
マウスの左ボタンと右ボタンの機能を入れ替えます。

索引

A	
ABS インジケーター	5
ANALYZER	4
ANALYZER 画面	21
AUTO PUNCH/LOOP	4
AUTOMIX EDIT	4
AUTOMIX SETUP	4
AUX バス・リンク・スイッチ	15
C	
CAPTURE TO	28
Capture to Mastering Tr. in CDR mode?	29
CD CAPTURE	28
CD PLAYER	4
CD TRACK	29
CD TRACK CAPTURE LENGTH	29
CD TRACK CAPTURE OFFSET	28
CD-R WRITE	4
CD-RW MASTERING	4
CD-RW MASTERING 画面	24
CD-RW マスタリング画面	24
CD キャプチャー	28
CH VIEW	4
D	
DATE/TIME	4
DRUM PATTERN EDIT	4
E	
EFFECT	3
EZ ROUTING	4
LOAD	4
SAVE	4
EZ ROUTING 画面	22
F	
FADE IN CURVE	26
FADE IN TIME	26
FADE OUT CURVE	26
FADE OUT TIME	26
G	
GEN/OSC	4
GLOBAL PARAMETER	4
GRID MODE	32
H	
HOME	4
HOME 画面	6
I	
Illegal Track Pair!	29
INPUT MIXER 17 ~ 24 / AUX MST	17
INPUT MIXER 1 ~ 16	17
INPUT MIXER/MASTER BLOCK	4
L	
LCD	25
L-Ch DESTINATION TRACK	28
LOCATOR	4
M	
MARKER	4 ~ 5
MASTER EDIT	4
MASTERING ROOM	4
METRONOME	4
MIDI PARAMETER	4
MIXER 画面	
チャンネル・ビュー	10
マルチ・チャンネル・ストリップ・ビュー	17
ミキサー・ビュー	14
MULTI CH STRIP VIEW	4
P	
PARAMETER INIT	4
PHRASE	
COPY	3
DELETE	3
DIVIDE	3
MOVE	3
NAME	3
NEW	3
NORMALIZE	3
SPLIT	3
TRIM IN	3
TRIM OUT	3
PHRASE EXPORT	4
PHRASE LEVEL	26
PHRASE SEQ EDIT	4
PLAY/REC PARAMETER	4
PLAY ボタン	5
PROJECT	3
LIST	3
NEW	3
STORE	3
PROJECT PARAMETER	4
R	
R-BUS CONFIG	4
R-Ch DESTINATION TRACK	28

REC ボタン	5	アンドゥ・ボタン	5
REGION		い	
ARRANGE	3	イージー・ルーティング画面	22
COMP/EXP	3	イコライザー	
COPY	3	カーブ	13
CUT	3	グラフ	17, 19
ERASE	3	スイッチ	13, 16 ~ 17, 19
INSERT	3	リセット・ボタン	13
MOVE	3	インプット・クリップ・インジケータ	6
ROUTING VIEW	4	インプット・ミキサー	22
S		う	
SCENE	4	ウェーブ・ディスプレイ・ボタン	9
SCRUB スイッチ	5	え	
SHUTDOWN/EJECT	3	エクスターナル・シンク・スイッチ	5
STOP ボタン	5	エフェクト・リターン・ミキサー	23
SURROUND	4	お	
SYNC PARAMETER	4	オートミックス	
SYSTEM PARAMETER	4	アンドゥ/リドゥ・ボタン	5
T		スイッチ	5
TAKE MANAGER	3	ステータス	5, 8, 15 ~ 19
TEMPO MAP	4	ステータス・ボタン	10
TRACK	3	データを呼び出す	31
EXCHANGE	3	データを複数作る	31
IMPORT	3	オート・ゲイン・スイッチ	13
NAME	3	オート・パンチ・スイッチ	5
TRACK EXPORT	4	オート・マーカー	24
TRACK MIXER/FX RTN MIXER	4	く	
U		グリッド	32
UTILITY	4	モード	32
UTILITY 画面	21	グループ・フェーダー・スイッチ	19
V		け	
V.FADER	4	ゲイン・リダクション・メーター	12
VGA ディスプレイ	25	現在時刻	5
W		さ	
WAV IMPORT	4	再生ボタン	5
Z		し	
ZERO ボタン	5	シーン・ネーム表示	5
あ		シーン・ボタン	5
アッテネーターつまみ	10	ジェネレーター	23
アナライザー	21	使用エフェクト・ボード切り替え	21
アナライザー・ソース	21	小節表示	5
アフター・レコーディング・パラメーター	24	ショートカット	33
アベレージ・タイプ	21		
アベレージ・タイム	21		

- す**
ズーム 8
スクラブ・スイッチ 5
スナップ・ショット・ボタン 5
- せ**
絶対時刻インジケータ 5
ゼロ・ボタン 5
- そ**
操作画面 25
ソロ・スイッチ 8, 11, 15 ~ 17, 19
- た**
ダイナミクス
カーブ 12
グラフ 17, 19
スイッチ 12, 16 ~ 17, 19
モード 12
リセット・ボタン 12
タップ・ボタン 5
- ち**
チャンネル・ビュー
インプット/トラック・ミキサー 12
エフェクト・リターン・ミキサー 14
チャンネル・リンク・スイッチ 10
- つ**
つまみ 6
つまみパラメーター切り替え 20
つまみ切り替えタブ 6
- て**
ディザー・ビット 15, 18
停止ボタン 5
ディスク残量メーター 9
デジタル・インプット・セレクト・スイッチ 22
- と**
トラック・ステータス 8, 16, 19
トラック・ステータス・ボタン 10
トラック・ダイレクト・アウト・スイッチ 23
トラック・ミキサー 23
トランスポート・ボタン 5
トリム・アウト 32
トリム・イン 32
- ね**
ネクスト・ボタン 5
- は**
早送りボタン 5
早戻しボタン 5
パリ・ピッチ・インジケータ 5
- ふ**
ファースト・フォワード・ボタン 5
ファンタム電源スイッチ 10, 22
フィルター設定 13
フェーズ・スイッチ 10, 17, 19
フェーダー・グループ切り替え 10
フェーダー・パラメーター切り替え 20
フェーダー・リンク・スイッチ 10
フェード・イン 26
プリビュース・ボタン 5
プレイリスト 8
プレイリスト切り替えボタン 8
フレーズ・シーケンス
アンドゥ/リドゥ・ボタン 5
スイッチ 5
ステータス 5, 8, 16, 19
ステータス・ボタン 10
フレーズ・パッド
スイッチ 10
モード切り替え 10
フレーズ・パラメーター 26
プレビュー
スルー・ボタン 5
トゥー・ボタン 5
フロム・ボタン 5
プロジェクト・ゲージ 5
プロジェクト・プロテクト・インジケータ 5
プロジェクト名 5
- ほ**
ホーム画面 6
- ま**
マーカー・ネーム 5
マーカー・ボタン 5
マーカー番号 5
マスタリング・トラック・CD-R REC モード 24
マスタリング・トラック・ステータス 24
マスタリング・トラック・ネーム 24
マスタリング・ルーム・スイッチ 5, 24
マスタリング・ルーム・ステータス・ボタン 5
マルチ・ビュー切り替えスイッチ 18

み

- ミキサー・ビュー
 - インプット・ミキサー/
マスター・ブロック 14
 - トラック・ミキサー/
エフェクト・リターン・ミキサー 16
- ミキサー画面 10
 - チャンネル・ビュー 10
 - マルチ・チャンネル・ストリップ・ビュー 17
 - ミキサー・ビュー 14
- ミックス・バス・センド・スイッチ 11
- ミュート・スイッチ 8, 11, 15 ~ 17, 19

め

- メトロノーム・スイッチ 5

も

- モード・リセット・ボタン 8
- モノ・スイッチ 10, 16, 19

ゆ

- ユーティリティー画面 21

り

- リドゥ・ボタン 5
- リワインド・ボタン 5
- リンク・スイッチ 15 ~ 19

る

- ループ・スイッチ 5

れ

- レコーディング・トラック 22
- レベル・メーター 7

ろ

- 録音可能残り時間 9
- 録音ボタン 5
- ロケーター・ボタン 5

MEMO

お問い合わせの窓口

商品のお取り扱いに関するお問い合わせは・・・ ローランドお客様相談センターまでご相談ください。尚、お問い合わせの際には取扱説明書をご用意ください。

ローランドお客様相談センター

受付時間：午前10時～午後5時（土、日曜、祝日および弊社規定の休日を除く）

< 電話番号 >

大阪

TEL (06) 6345-9500

東京

TEL (03) 3251-6150

< 住所 >

〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 大和堂島ビル7F

修理に関するお問い合わせは・・・ 商品をお求めの販売店が保証書に同封されている「サービスの窓口」に記載の営業所またはサービス・ステーションまでご相談ください。

上記窓口の名称、所在地、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

'01. 5. 1 現在

著作権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、公演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音し、配布、販売、貸与、公演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 本機では、外部機器とデジタル接続でオーディオ信号をやりとりする際、SCMS（Serial Copy Management System）による制約を受けず録音を行うことができます。これは本機が専ら音楽制作を目的としており、他者の著作権を侵害しない作品（自作曲など）の録音まで、制約を受けないよう設計されているためです。（SCMSとは、デジタル接続を介しての、第二世代以降のコピー録音を制限する機能です。著作権保護の目的で、MDレコーダーなどの民生用デジタル・オーディオ機器に搭載されています。）
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本機を使用しないでください。あなたが本機を用いて他者の著作権を侵害しても、ローランドは一切責任を負いません。
- 個人で楽しむこと（私的使用）を目的としていても、SCMS等の技術的保護手段を回避して第三者の著作物を無断で複製することは、第三者の著作権を侵害する行為となり、法律で禁じられています。
- 技術的保護手段が施されていないもの、及びSCMSに対応しての複製に関しては、従来どおり私的使用の範囲で行えます。

許諾条件について

- VS-2480、およびそのCD-R/RWライト機能は、あなた自身が著作権を保有している素材、あるいは著作権保有者から複製を許可された素材を複製するために設計されています。したがって、第三者が権利を有する素材を権利所有者の許可無く複製することは、著作権法違反になります。また、自分で楽しむことを目的とした使用（私的使用）の場合であっても、SCMS等のコピー防止のための技術的保護手段を回避して複製する行為は著作権法違反になります。権利保有者の許諾を得る方法などの詳細は、著作権専門家、専門機関にご相談ください。

MIDIは社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。

文中記載の会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

取扱説明書の英語版（有料）をご希望の方は、販売店にお問い合わせください。

If you should require an English Owner's Manual (at a modest fee), please contact an authorized Roland distributor.

この取扱説明書は再生紙を使用しています。